



令和2年が始まりました。令和になって初めてのお正月を迎え、みなさん「今年こそは！」という思いにあふれていると思います。

生き生きと新しい時代を乗り越えていくみなさんに、始業式では、次のような話をしました。



- ① 今までとは違った視点から情報を集めたり、体験したりすることによって、自分自身を成長させよう！
- ② 自分の天井を突き破ってそこにある景色を見るために、何かに対して全力を尽くして努力してみよう！

ある報道番組で「世界が幼児化してきている！」という指摘がありました。幼児の特徴の1つに、「自分のことしか見えない」ということが挙げられます。昨年流行った「〇〇ファースト」という言葉がそれを表しています。何でも自分が一番ということです。では、「幼児化した社会」の反対はというと、「成熟した社会」です。周囲の状況をよく見て、自分がどうふるまうのが、全体として良いのかを判断できる社会です。これらの社会の動きは私たち自身の動きとも関連しています。ぜひみなさんには成熟した人間になってほしいと思います。そのためには、多くの体験をし、成果や失敗の中からいろいろなことを学んでください。さらに、自分の体験だけでは限られたものになってしまうかもしれません。新聞や書籍などを活用して、他の人がした体験等も自分のものにできるようにして欲しいと思います。令和2年を自分自身が成長できる年にしましょう！

令和2年にチャレンジしてほしいことはもう一つあります。自分の天井を突き破れるような努力をしてみよう！ということです。

勉強・部活動・行事等何でもよいので、目標を決めて取り組んでほしいと思います。

「努力する」とはどういうことか。ということで、ある方の書いた文を引用させていただきました。バスケットボールを通して努力することについて言っていますが、これはいろいろなことに共通のことだと思います。

## 「努力すること」

# “努力！”

できないことは恥じる必要がない。

しかしできないことをできるようにしないことは恥ずべきことだ。

できないことをできるようにするために、できないことができるようになった自分をイメージする。

ただし、できるようになるために努力している姿もイメージする。ここが大事だ。

そしてそのイメージを行動に移す。

高みを目指せば目指すほど、明日突然目指しているものが実現するはずがない。

明日の自分はできない自分だ。

だから明日の自分をイメージするとしたら、それは人より多くシュートを打っている姿だったり、

誰よりも早く来てグラウンドを走っている姿だったりするはずだ。

そして明日にはそのイメージ通り行動する。

これを毎日繰り返す。

### この実行力こそが努力という。

しかし実際はこういう努力ができるようになるのは、

並大抵のことではない。

自分も含め、大人でもこういう努力ができる人は少ないのだろう。

だからこそ、永遠のテーマとして「できるようになりたいと思い

続けること」が大事なのだと思う。

そうすれば、バスケットを通して一生成長していけるのだと

信じている。



小さな目標でもいいから自分ができるようになったイメージを持って自分の可能性にチャレンジしてほしいと思います。そうすれば、何か月後かには、今よりも一段と成長した自分に会えます。

一人ひとりが自分の天井を突き破り、令和2年を成長の年にしてください。みなさんの活躍を期待しています。